

令和5年度

# 総会要項



新潟市学校事務研究協議会

## 令和4年度 活動報告

日時 ・ 会場	会 議	内 容
4～5月	各グループ	各グループ幹事選出
	理事	新役員（事務局・運営部員）選出
5月25日（水） 新学協本部会議室	第1回理事会	新旧引き継ぎ、活動計画・役員・総会について検討 新役員の会長推薦
6月27日（月） ※書面議決	総会	議事 活動報告、会計報告、活動計画、役員・予算書案の承認
7月 中学校長会 ほか	諸団体事業説明訪問	中学校長会、小学校長会、弘済会、新学協、厚生財団、教職員共済への事業説明
7月21日（木） 新学協本部会議室	第1回役員会	令和4年度活動について検討
7月22日（金） オンライン（Zoom）	第1回研修セミナー	構造化して考える力を鍛える はじめての“グラレコ”講座
7月27日（水）～8月17日（水） ※全事研Webによる配信	第28回全事研セミナー	文部科学省行政説明／研究大会（愛媛大会）PR／講義
8月3日（水） ※書面表決	全事研総会	議事 活動報告、決算報告・監査報告、役員選出、活動計画、予算審議等
8月18日（木）～19日（金） 北九州市立教育センター	政令指定都市学校事務 職員研究協議会	分科会協議／全体会（分科会報告）
9月28日（水） オンライン（Zoom）	第1全体研修会	講演「一人ひとりの個性を活かして、働きがいのある職場（チーム）をつくる」、グループディスカッション
10月13日（木） 新学協本部会議室	第2回役員会	第1回全体研修会反省と第2回全体研修会、若手ガイダンスについて
10月26日（水） オンライン（Zoom）・参集研修	第2回研修セミナー	“グラレコ”で伝えるを学ぶ 講座
11月18日（金） 新潟市生涯学習センター	全事研新潟支部事務連 絡会	協議 活動中間報告、会計中間報告、意見交換
	厚生財団、新学協・教育 用品事務連絡会	各団体事業説明・意見交換等（新事研と合同）
12月14日（水） 江南区福祉センター	ビギナーズ研修会	市事研の活動内容、ビギナー向けワンポイント研修
1月16日（月） オンライン（Zoom）	第2回全体研修会	会員へのインタビュー／講話「地域との連携・協働において学校事務職員に期待すること」／調査結果・考察／実践・取組紹介
1月26日（木）～27日（金） 愛媛県民文化会館 ほか	第54回全事研研究大 会（愛媛大会）	文部科学省行政説明／全体研究会／分科会／シンポジウム
1月30日（月） 新学協本部会議室	第2回理事会	全体研修のまとめと今後の活動検討
2月13日（月） 新潟市総合教育センター	第3回役員研修会	市事研調査に係る結果考察伝達/グランドデザイン解説編について
2月22日（水） 国立教育政策研究所	共同実施における今後の在 り方に関する協議会	共同学校事務室による学校事務改善及び学校経営参画について
3月30日（木） 岡方第一小学校	会計監査	会計監事2名による会計監査の実施

令和4年度 事務局 活動評価

活動目標	円滑な組織運営を行い、会員への広報活動に努め、会員相互の情報共有や交流が深まるようにする。
------	---

活動項目	具体的な内容	成果と課題、次年度への方策
全体運営、事務局の活動評価	○市事研全体の総括 ※会長、副会長と連携	【成果】 ・常に不明な点は確認しながら、概ね円滑に運営できた。 ・事務局内の活動評価を実施し、全員で検証することができた。
	○年間スケジュール管理 事務局マニュアル整理	【課題】 ・予定の把握が遅く、研修会の時期との兼ね合いもあり、管理状況に不十分な点があった。 ・各担当業務内容の割り振りに少し偏りが出てしまい、業務量に差が出ていた面があった。
	○事務局の活動評価の実施および考察	【次年度へ】 ・研修会の予定等も含めて、年間スケジュールの管理を行えるよう、組織全体のスケジュールの把握を行いたい。 ・各部からの起案内容の確認を適格かつ慎重に行い、組織全体の運営に支障が出ないようにする。 ・円滑な組織運営に向けて、事務局の業務管理は全局員で行い、一部の局員だけに業務が集中しないように、年度当初から担当割り振りや業務内容の精選を行う。
総会及び研修会・各種会議の準備、運営	○理事会の準備、運営 会場予約、日程調整、派遣依頼、記録	【成果】 ・役割分担が明確に行われ、各々が滞りなく準備を進めることができた。
	○役員会の準備、運営 会場予約、日程調整、派遣依頼、記録	【課題】 ・年度当初の各種会議の開催時期の予定と実際に行われた時期に相違があり、その決定方法や確認方法が不明確な部分があり、見直しをもった事前準備が十分にできない面があった。
	○総会の準備、運営	【次年度へ】 ・年度当初の予定作成の際に、各種会議の実施時期について、十分に検討を行い、情報共有を促進する。 ・理事会や役員会の実施については、予定作成の段階で参加対象者の予定を確認し、実施日時や会場などはある程度事前に決めておく。(可能であれば、1年間分をまとめて決定し、各々が年度当初に予定に入れておく。) ・総会の実施方法に合わせて、見直しをもって計画を立案する。
会計・名簿・会員情報管理	○予算書立案及び執行管理、会計監査対応	【成果】 ・会計の執行管理および各種助成金の申請や報告については、滞りなく処理することができた。
	○各種団体への助成金申請、報告書提出	【課題】 ・もう少し実態に沿った予算立案ができると良かった。 ・自主研究助成の申請期限が2月末では遅かった。 ・旅費や助成金の渡し方に困る場面があった。
	○会員名簿の作成及び管理、会費集金業務	【次年度へ】 ・予算策定の際に、各部から予算要求をしてもらい、必要な予算を必要な部に配当する。 ・自主研究助成の申請期限を1月末にする。 ・旅費や助成金について、役員以外の会員への支給は場合により振込みで行う。
記録・広報活動及び情報収集	○各種会議の記録	【成果】 ・各種会議記録が作成され、理事及び役員で情報共有ができた。 ・グループ幹事の役割を事務局が担うことにより、グループ幹事の負担軽減が図れた。
	○要覧(沿革)の作成、活動記録・会則・組織図の保管	【課題】 ・会員への各種案内や調査依頼は各部が行うのか、事務局が行うのか不明確だった。 ・要覧の内容については次年度変更の必要がある。 ・要覧完成までに日数がかかった。 ・全事研からの会報紙の配付やグループへの配信業務はすべて広報室をお願いしても良いのではと思う。
	○会員(グループ幹事)への連絡	【次年度へ】 ・配信担当を明確にし、C4thで配信する。 ・要覧に限らず起案文書は確実に確認し、何度も修正しないようにする。
他団体連絡体制の構築	○全事研新潟支部(新事研)との窓口 新事研会員の取りまとめ、全事研等各種調査への協力	【成果】 ・各種調査へ滞りなく回答できた。
	○他団体との連携	【課題】 ・誰が回答すべきか不明な点があった。 【次年度へ】 ・役割がきちんと把握できるようにしていきたい。

令和4年度 研究部 活動評価

活動目標	全会員で研究テーマに迫る方法を探る(わたしたちの最適解)
------	------------------------------

活動項目	具体的な内容	成果と課題、次年度への方策
情報分析	社会情勢から学校事務の変化を予測し、調査分析から経年変化や意識の変容を確認して、新潟市における学校事務の未来を考察する。(希望・備え)	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年変化の様子を収集できた。</li> <li>・調査観点をランドデザインの視点ごとに設定したことで、ねらいを明確にできた。</li> <li>・調査分析考察中に、会員の要望に即応した情報提供ができた。(教材評価方法)</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校事務の未来を見出せる設問設定ができなかった。</li> </ul> <p><b>【次年度へ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査は継続。</li> <li>・より効果的な実践収集と実践例周知の方法を検討。</li> <li>・これまで行った会員の実践について、視点ごとに分類したり、リソースを抽出したりして、実践を蓄積する。</li> </ul>
研究テーマの推進	ランドデザインの4視点の意図や具体例を示し、会員の理解をより深める方策を検討する。(共感・学び合い)	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解説編の作成。(研究部員及び役員の理解は図られた。)</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度内に会員へ4視点の意図や具体例(解説編)の周知ができなかった。</li> </ul> <p><b>【次年度へ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の全体研修会で解説編を周知する。</li> <li>・何を持って会員が理解したのか定義付けを行う。</li> </ul>

研究テーマは、研究部が会員に提案するだけではなく、会員一人ひとりが「何のために学校にいるのか」「学校でどのように取り組んだら良いか」を主体的に考え行動していくものです。それを研究部がまとめて提案していくことで、市内全体で共有し、ともに取り組んでいきたいと考えています。

令和4年度 研修部 活動評価

活動目標	会員の想いをカタチ(実践)にすることや個のキャリアビジョンを描けるように「学び」の場をプロデュースする。
------	--

活動項目	具体的な内容	成果と課題、次年度への方策
学び合い・高め合いの場の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマ推進のための研修会を企画・運営</li> <li>・個のスキルアップのためのセミナーを企画・運営</li> <li>・共感(共創)・提案の場を設定</li> <li>・参加者・役員アンケートの集約, 改善事項の検討</li> </ul>	<b>【成果】</b> ・会員の実践や取組等を紹介する機会を設け、研修会を共感(共創)の場とすることができた。  ・研究テーマ推進に向けた, 研修会のねらいの確認と共有に努めた。(役員間・会員間)
		<b>【課題】</b> ・研修会開催時期の遅れやセミナーの開催回数削減等、企画から開催に至るまでの見通しが不十分だった。
		<b>【次年度へ】</b> ・前年度のうちに研修計画を立てる。 ・開催時期や開催回数を見直しを図る。

令和4年度 広報室 活動評価

活動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動を通して会員や関係機関との持続的かつ良好な関係構築を図る。</li> <li>・会員が様々な情報から知識を広げ、学校事務職員としての視野を広げるための広報活動を展開する。</li> </ul>
------	--

活動項目	具体的な内容	成果と課題、次年度への方策
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市事研会報の発行 組織内の情報循環のため、市事研活動の様子をはじめ、様々な情報を提供する。(市事研会報年5回)</li> <li>・新採用ガイダンスの実施 市事研活動への理解を図るためにガイダンスを実施する。</li> <li>・HPの運営管理 社会に向けて市事研活動を発信する。また会員専用のデータベースとしての役割を果たす。</li> </ul>	<b>【成果】</b> 会報の発行により組織内で情報循環が図れた。1, 2年目を対象にした研修会では参加者から肯定的な意見をいただいた。
		<b>【課題】</b> ホームページの閲覧数が伸び悩んでいる。内容の充実が求められる。
		<b>【次年度へ】</b> HPの内容を充実させ、あらゆるコンテンツを発信できるようにしたい。
情報受信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート活動 会員の声を広く収集し、組織運営に活かす。</li> <li>・情報収集 全事研及び新事研などの他団体との交流等により多様な情報を収集する。</li> </ul>	<b>【成果】</b> 情報発信するための情報受信であり、会報発行の際には聞き取りをしながら情報収集し、発信に繋げることができた。
		<b>【課題】</b> 情報量がカギとなるので、よりタイムリーで有益な情報を多く収集できるように努めたい。
		<b>【次年度へ】</b> 他団体との相互の情報交換をするなど、定期的にタイムリーな情報が入ってくるしくみを構築させたい。

令和4年度 新潟市学校事務研究協議会会計 決算書

1 収入の部

△は減

新潟市学校事務研究協議会

	予算額	決算額	予算に対する増減	摘 要
繰越金	770,588	770,588	0	前年度からの繰り越し
会費	404,000	424,800	20,800	(会費2,000円×会員202名)+(新事研究会費4,500円×会員4名) +(会費1,000円×賛助会員5名)-振込手数料2,200円
補助金	470,000	470,000	0	弘済会・厚生財団・新学協・教職員共済より研究助成金
雑収入	5	9	4	預金利息
合 計	1,644,593	1,665,397	20,804	

2 支出の部

項	費 目	予算額	決算額	予算に対する増減	摘 要
運 営 費	会議費	50,000	0	△ 50,000	
	消耗品費	50,000	819	△ 49,181	封筒、リングファイル
	印刷費	200,000	111,100	△ 88,900	名刺印刷、令和4年度新潟市事研要覧、封筒、外部配付用会報
	役務費	150,000	103,700	△ 46,300	賛助会員郵送料、ホームページ保守管理費、団体助成申請書・報告書郵送料
	小 計	450,000	215,619	△ 234,381	
運 営 部 活 動 費	事務局費	70,000	6,468	△ 63,532	事務局会旅費
	研究部費	70,000	27,590	△ 42,410	研究部会旅費、グランドデザイン解説編印刷、2/22東京出張旅費補助
	研修部費	70,000	40,118	△ 29,882	研修部会旅費、研修部会会場費6/6・12/7、駐車場代、2/22東京出張旅費補助
	広報室費	70,000	68,425	△ 1,575	広報室会旅費、広報室会会場費9/30・11/11、広報室名刺印刷、三脚、書籍、カードリーダー、AppleTV本体・収納ケース、モバイルモニター、microSDカード、HDMIケーブル、電源タップ、2/22東京出張旅費補助
小 計	280,000	142,601	△ 137,399		
研 修 会 運 営 費	会場費	100,000	1,723	△ 98,277	1/16第2回全体研修会講師接待用茶菓子 各団体挨拶回り手土産 7/22・10/26セミナー講師謝礼・手土産 9/28第1回全体研修会講師謝礼
	報償費・旅費	100,000	132,268	32,268	1/16第2回全体研修会来賓・講師謝礼・手土産 1/16第2回全体研修会発表者旅費
	研修会消耗品費	60,000	4,614	△ 55,386	1/16第2回全体研修会運営用イヤホン
	小 計	260,000	138,605	△ 121,395	
研 究 助 成 費	研究会等参加費	250,000	163,915	△ 86,085	2/22新潟市共同実施における今後の在り方に関する協議会（東京/8名）、2/22指導者手土産
	補助研究費	50,000	49,640	△ 360	自主研究助成7件
	小 計	300,000	213,555	△ 86,445	
旅 費	役員旅費	65,000	71,476	6,476	会計監査旅費、理事会旅費、役員会旅費、政令市定例会実行委員会旅費、ビギナーズ研修会役員旅費、全事研新潟支部懇談会旅費、第2回全体研修会旅費
	研究会等参加旅費	50,000	77,820	27,820	政令指定都市学校事務職員研究協議会（北九州市/1名）
	その他旅費	2,000	0	△ 2,000	
	小 計	117,000	149,296	32,296	
負 担 金	負担金	202,000	220,000	18,000	令和4年度全事研究会費（1,000円×202名） 令和4年度新事研究会費（4,500円×4名）
	小 計	202,000	220,000	18,000	
予 備 費	予備費	35,593	5,280	△ 30,313	払い戻し手数料、振込手数料
	小 計	35,593	5,280	△ 30,313	
合 計		1,644,593	1,084,956	△ 559,637	

3 残高の部

(収入総額) (支出総額) (残高)  
 1,665,397円 - 1,084,956円 = 580,441円 (残額につきましては次年度へ繰り越いたします)  
 上記のとおり報告いたします。 会長 笹川 富美子 印 会計係 鍋倉 佑季 印

令和4年度決算について監査を行った結果を次の通り報告いたします。

- 1 諸帳簿等について詳細に監査を行った結果、適正に処理されていることを認めます。
- 2 予算執行が適正であることを認めます。

令和5年3月30日 会計幹事 三浦 孝慈 印 岡村 昇 印

令和4年度 全国公立小中学校事務職員研究会 新潟支部会計 決算書

1 収入の部

△は減 (単位:円)

項目	予算額	決算額	予算に対する増減	摘要
1 繰越金	789,448	789,448	0	前年度繰越金
2 会費	690,000	685,000	△ 5,000	会員1,000円×685名 (新潟市193、新潟市以外492)
3 雑収入	52	8	△ 44	貯金利息
合計	1,479,500	1,474,456	△ 5,044	

2 支出の部

△は減 (単位:円)

項目	予算額	決算額	予算に対する増減	摘要
1 運営費	60,000	38,832	△ 21,168	
役務費	15,000	23,380	8,380	全事研会報郵送料、振込手数料
消耗品費	35,000	14,652	△ 20,348	プリンターインク、コピー用紙
支部活動会場費	10,000	800	△ 9,200	新潟市事研との交流会会場料
2 研究助成費	50,000	0	△ 50,000	
補助研究費	50,000	0	△ 50,000	
3 旅費	440,000	34,720	△ 405,280	
全事研役員旅費	120,000	0	△ 120,000	
大会派遣旅費	300,000	0	△ 300,000	
支部活動旅費	20,000	34,720	14,720	全事研新潟支部実践交流研修会旅費、情報チーム部会旅費
4 会費・負担金	325,000	320,000	△ 5,000	
全事研会費	320,000	320,000	0	全事研会費 (320名分)
北越地区負担金	5,000	0	△ 5,000	
5 予備費	604,500	0	△ 604,500	
予備費	604,500	0	△ 604,500	
合計	1,479,500	393,552	△ 1,085,948	

3 残高の部

(収入総額)

(支出総額)

(残高)

1,474,456円 - 393,552円 = 1,080,904円 (残額につきましては次年度へ繰り越いたします。)

上記のとおり報告いたします。 会長 高橋 睦美 印 会計係 羽生 萌香 印

令和4年度決算について監査を行った結果を次の通り報告いたします。

1、諸帳簿等について詳細に監査を行った結果、適正に処理されていることを認めます。

2、予算執行が適正であることを認めます。

令和5年3月10日

会計監事

清水 邦子 印

工藤 美由紀 印



## 令和5年度 新潟市学校事務研究協議会 役員名簿

会長	笹川 富美子 (鳥屋野中学校) 政令市事務研新潟市代表、教職員共済幹事	
副会長	風間 和子 (小針中学校) 新学協常任理事	竹石 幸代 (新津第一小学校) ※新任 全事研新潟支部評議員
会計監事	大野 拓真 (山潟中学校)	土佐 茉依 (東新潟中学校)

顧問	佐野 公則 (東新潟中学校) ※新任
----	--------------------

事務局	
局長	日南田 江利奈 (新通小学校) ※継続
次長	田邊 直人 (新津第二中学校) ※継続
局員	鍋倉 佑季 (岡方第一小学校) ※継続
	谷 謡子 (寄居中学校) ※継続
	近藤 美香 (大形中学校) ※継続
	領家 万里子 (根岸小学校) ※新任
	田中 里歩 (味方中学校) ※新任

	研究部	研修部	広報部
部長	神田 千春 (西特別支援学校) ※継続・新部長	加藤 恵子 (日和山小学校) ※継続・新部長	渡部 慎 (小針小学校) ※継続
副部長	阿部 凧紗 (濁川中学校) ※継続・新副部長	植木 克巳 (上山中学校) ※継続・新副部長	丸谷 大貴 (新津第三小学校) ※継続・新副部長
部員	飯塚 恵 (坂井輪小学校) ※継続	坂上 匠 (大江山中学校) ※継続	皆川 唯花 (白南中学校) ※継続
	知桐 碧 (大通小学校) ※新任	宮崎 弥紀子 (木戸中学校) ※継続	狩谷 美明 (新通つばさ小学校) ※新任
	石黒 裕之 (結小学校) ※新任	岡村 昇 (女池小学校) ※新任	山田 紗瑛 (中野山小学校) ※新任
	田中 真理恵 (亀田西中学校) ※新任	松野 桃子 (浜浦小学校) ※新任	吉原 恵介 (上所小学校) ※新任

## 令和5年度 活動計画

日時 ・ 会場	会 議	内 容
5月	理事	新役員（事務局・運営部員）選出
5月24日（水） 新学協本部会議室	第1回理事会	新旧引き継ぎ、活動計画・役員・総会について検討 新役員の会長推薦
5月25日（木）～8月4日（金） オンライン	全事研セミナー	講義「リーダーシップと組織開発」／全国研究大会福井大会案内
6月21日（水） オンライン	研修セミナー	講話「学校はなにをすところ？どうする、学校事務職員一ワイガヤでアイデアを動かしていこうー」
6月22日（木） ANAクラウンプラザホテル	新潟教弘との懇談会	令和5年度新潟教弘の事業について／県事務研、市事務研の活動の様子等／新潟教弘の事業に対する質問、要望等
6月26日（金） ※書面議決	総会	議事 活動報告、会計報告、活動計画、役員・予算書案の承認
6月30日（水） 総会議決結果配信		
6月30日（金） まちなかキャンパス長岡	全事研新潟支部実践交流研修会	全事研福井大会分科会提案発表に関する意見交流、全事研福井大会分科会助言者からの指導、研修
7月7日（金） まちなかキャンパス長岡	全事研新潟支部交流研修	新事研との情報交換、全事研会報発送作業
7月 中学校長会 ほか	諸団体事業説明訪問	中学校長会、小学校長会、弘済会、新学協、厚生財団、教職員共済への事業説明
7月14日（金） 新学協本部会議室	第1回役員会	令和5年度活動について検討、役員研修会
7月20日（木） 江南区文化会館	第1回全体研修会	一年間の研究研修活動について・グランドデザイン解説編について
7～9月 新学協本部会議室	第2回理事会	総会の記録・反省 研修セミナー、第2回研修会企画及び運営計画の検討
8月2日（水） ※開催方法未定	全事研総会	議事 活動報告、決算報告・監査報告、役員選出、活動計画、予算審議等
8月3日（木）～4日（金） 参集+オンライン	第55回全事研福井大会	文部科学省行政説明／活動報告／全体研究会Ⅰ／分科会／全体研究会Ⅱ／分科会報告／シンポジウム
8月9日（水）～10日（木） おかやま西川原プラザ	政令指定都市学校事務職員研究協議会	分科会協議／全体会（分科会報告）
9月 新学協本部会議室	第2回役員会	第2回全体研修会・運営の確認
10月 ※開催方法未定	研修セミナー	講師未定
11月17日（金） 新潟市生涯学習センター	全事研新潟支部事務連絡会	協議 活動中間報告、会計中間報告、意見交換
	厚生財団、新学協・教育用品事務連絡会	各団体事業説明・意見交換等（新事研と合同）
11月または12月 オンライン	第2回全体研修会	
1月 新学協本部会議室	第3回理事会	全体研修のまとめと今後の活動検討
2月 新学協本部会議室	第3回役員会	活動反省、次年度の活動計画、研究テーマ、内容の協議
3月	会計監査	会計監事2名による会計監査の実施

注）現時点での活動計画のため延期又は中止等変更になる場合があります。

## 令和5年度 事務局活動計画

活動目標	各部と連携し、円滑な組織運営に努める。
------	---------------------

活動項目	具体的な内容
全体運営、事務局の活動評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市事研全体の総括 ※会長、副会長と連携</li> <li>○年間スケジュール管理 事務局マニュアル整理</li> <li>○事務局の活動評価の実施および考察</li> </ul>
総会及び研修会・各種会議の準備、運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理事会の準備、運営 会場予約、日程調整、派遣依頼、記録</li> <li>○役員会の準備、運営 会場予約、日程調整、派遣依頼、記録</li> <li>○総会の準備、運営</li> </ul>
会計・名簿・会員情報管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○予算書立案及び執行管理、会計監査対応</li> <li>○各種団体への助成金申請、報告書提出</li> <li>○会員名簿の作成及び管理、会費集金業務</li> </ul>
記録・情報収集及び会員への連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種会議の記録</li> <li>○要覧(沿革)の作成、活動記録・会則・組織図の保管</li> <li>○会員への連絡</li> </ul>
他団体連絡体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全事研新潟支部(新事研)との窓口 新事研会員の取りまとめ、全事研等各種調査への協力</li> <li>○他団体との連携</li> </ul>

## 令和5年度 研究部活動計画

活動目標	全会員で研究テーマに迫る方法を探る ～「共感」を呼ぶ未来デザイン～
------	-----------------------------------

活動項目	具体的な内容
学校経営参画等に関する調査・分析	<p>社会の動きや変化を踏まえて調査項目の検討を行い、調査結果から経年変化や意識の変容を確認し、新潟市における学校事務の未来を分析・考察する。</p>
実践事例の収集・分析	<p>会員の新たな実践の参考となるよう、収集した実践をもとにしたデータベースを作成する。</p> <p>また、実践事例の分析を通して、現行のグランドデザインの検証を並行して行い、次期の改訂につなげる。</p>
各種研修会への参加およびレポート作成	<p>一人でも多くの会員に共感してもらえる提案ができるよう、レポート作成や部内プレゼンといったアウトプットの機会を設定し、部員一人一人の「伝える力」や「まとめる力」のスキルアップを図る。</p>

## 令和5年度 研修部活動計画

活動目標	みんなで、ともに、伝え学び合える場所づくり ～「共創」を生む、Will の高まり～
------	--

活動項目	具体的な内容
「共感・共創」できる、 「新潟市事研」での「学び」の 機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員ひとりひとりが主体性をもって学び続け、実務や実践につなげられるよう、全体研修会を企画・運営                          ※ 別紙 「研修計画(案)」参照</li> <li>・参加者アンケートの集約と分析により、会員のニーズを把握</li> <li>・会員どうしのつながりがもて、フィードバックしあえる場の設定</li> <li>・個人のスキルアップのためのセミナーを企画・運営</li> </ul>

新潟市教育ビジョン達成に向けて 学校の新しい風になろう

◆新潟市学校事務研究協議会がめざす学校事務職員像

MVPsとして

地域とともにある学校  
学校を核とした地域

づくりを推進する学校事務職員

「事務をつかさどる」職である私たちは、一人一人が当事者として課題に向き合い協働します。新しい価値を創る「個の違い」を大切に、やる気と熱意をもって行動し、学び続けます。 ※グランドデザインより

◇新潟市事研での「学び」

新潟市学校事務研究協議会での「学び」には、意識改革と広がり・つながりがあります。一人一人なりたいたい姿や成長したいという思いを大切に、個のキャリアビジョン形成と組織全体の活性化につなげます。

◇R5年度 特に大切にしたいこと

実務や実践につなげられるよう、私の希望・私がやりたいこと・私はこうしたい・・・この「Will」の高まりをみんなで創っていきます。

今年度のイメージ図 ▶



第1回全体研修会  
グランドデザイン解説編・  
1年間の研究研修活動について

まず、やってみよう。  
実践

第2回全体研修会  
「やってみたこと」  
進捗状況をシェアしよう

◇1年間の「学び」の機会

年間予定	時期・会場
第1回全体研修会(全員参加型)	7月20日(木) 江南区文化会館
研修セミナー(希望制)	10月頃 会場/講師未定
第2回全体研修会(全員参加型)	11,12月頃 オンライン開催予定

◆新潟市がめざす学校事務職員像 『すべてはこどもたちのために』



## 令和5年度 広報部活動計画

活動目標	広報活動を通して市事研の価値を高める。
------	---------------------

活動項目	具体的な内容
情報マネジメント	<ul style="list-style-type: none"><li>・市事研会報の発行 組織内の情報循環のため、市事研活動の様子をはじめ、様々な情報を提供する。（市事研会報年5回）</li><li>・HPの運営管理 社会に向けて市事研活動を発信する。また市事研のデータベースとしての役割を果たす。</li></ul>

令和5年度 新潟市学校事務研究協議会 予算書

1 収入の部

(単位：円)

	今年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
繰越金	580,441	770,588	△ 190,147	前年度からの繰り越し
会費	389,000	404,000	△ 15,000	会員2,000円×192名、賛助会員1,000円×5名
補助金	470,000	470,000	0	弘済会・厚生財団・新学協・教職員共済より研究助成金
雑収入	5	5	0	預金利息
合 計	1,439,446	1,644,593	△ 205,147	

2 支出の部

(単位：円)

項	費 目	今年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
運 営 費	会議費	2,000	50,000	△ 48,000	事務連絡会参加補助費
	消耗品費	2,000	50,000	△ 48,000	封筒, 用紙, ファイル
	印刷費	148,000	200,000	△ 52,000	封筒, 名刺, グランドデザイン, グランドデザイン解説編
	役務費	150,000	150,000	0	郵送料, ホームページ保守管理費, 政令市定例会ページ作成費
	小 計	302,000	450,000	△ 148,000	
運 営 部 活 動 費	事務局費	5,000	70,000	△ 65,000	事務局会旅費, 活動費
	研究部費	30,000	70,000	△ 40,000	研究部会旅費, 活動費
	研修部費	30,000	70,000	△ 40,000	研修部会旅費, 活動費
	広報部費	30,000	70,000	△ 40,000	広報部会旅費, 活動費
	小 計	95,000	280,000	△ 185,000	
研 修 会 運 営 費	会場費	10,000	100,000	△ 90,000	研修会会場・機器設備使用料, 接待茶菓 他
	報償費・旅費	100,000	100,000	0	来賓旅費, 講師謝礼・旅費
	研修会消耗品費	10,000	60,000	△ 50,000	消耗品 他
	小 計	120,000	260,000	△ 140,000	
研 究 助 成 費	研究会等参加費	45,000	250,000	△ 205,000	研究会等参加費・資料代
	補助研究費	20,000	50,000	△ 30,000	自主研究助成
	小 計	65,000	300,000	△ 235,000	
旅 費	役員旅費	108,000	65,000	43,000	会計監査旅費(3名), 理事会旅費(約17名×3回), 役員会旅費(約26名×3回), 政令市定例会実行委員会(7名×約3回), 研修会・セミナー役員 他
	研究会等参加旅費	245,000	50,000	195,000	全事研福井大会(2泊3日5名)
	その他旅費	305,000	2,000	303,000	岡山市定例会視察(1泊2日5名), 助成金贈呈式旅費, 挨拶回り駐車場代, ガソリン代 他
	小 計	658,000	117,000	541,000	
負 担 金	負担金	192,000	202,000	△ 10,000	令和5年度全事研会費(1,000円×192名)
	小 計	192,000	202,000	△ 10,000	
予 備 費	予備費	7,446	35,593	△ 28,147	払い戻し手数料 他
	小 計	7,446	35,593	△ 28,147	
合 計		1,439,446	1,644,593	△ 205,147	



# 新潟市学校事務研究協議会会則

## 第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は新潟市学校事務研究協議会と称する。

(本部)

第2条 本会の本部は会長の勤務する学校に置く。事務局は事務局長の勤務する学校に置く。

(目的)

第3条 本会は会員相互の連絡提携を密にし、学校教育充実のため学校事務職員としての職務能力を高め、学校事務の向上に努めることを目的とする。

(事業)

第4条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 学校事務の研究, 調査に関すること。
- (2) 会員の研修に関すること。
- (3) 会員の地位向上に関すること。
- (4) 本会と目的を共有する他団体との連絡提携に関すること。
- (5) その他本会の目的達成に必要な事項に関すること。

## 第2章 組 織

(会員)

第5条 本会は新潟市公立学校の事務職員をもって構成する。

2 会員以外で本会の趣旨に賛同する者を賛助会員とする。

## 第3章 機 関

(機関の設置)

第6条 本会は次の機関を置く。

- (1) 総会
- (2) 理事会
- (3) 役員会

(総会)

第7条 総会は本会の最高議決機関で、全会員をもって構成する。

- 2 総会の成立は会員の過半数の出席とし、決議は出席者の過半数とする。
- 3 総会は毎年1回開催する。ただし会長が必要と認めた時及び理事会の要請があった場合、または会員の3分の2以上の要求がある時は臨時に開催することができる。
- 4 総会の議決事項は次のとおりとする。
  - (1) 会則の改正
  - (2) 事業計画の審議・事業報告の承認
  - (3) 予算の審議・決算の承認

- (4) 役員の承認
  - (5) その他重要な事項
- (理事会)

第8条 本会の会務を執行するため理事会を置く。

- 2 理事会は会長、副会長、理事及び事務局員、顧問をもって構成する。理事は、事務局長、事務局次長及び専門部長、専門部副部長とする。また必要により理事会に助言者等を招致することができる。

(事務局・専門部)

第9条 前条に掲げる理事会に事務局と次の専門部を置く。

- (1) 事務局
- (2) 研究部
- (3) 研修部
- (4) 広報部

- 2 前項の局に局長及び次長を、部に部長及び副部長を置く。
- 3 事務局・研究部・研修部・広報部は細則で定めた事項を行う。
- 4 専門部には必要により助言者等を招致することができる。

## 第4章 役員

(役員の種類と選出方法)

第10条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1～2名
- (3) 理事 8名
- (4) 専門部員 15名程度

- 2 役員の選出は次の方法による。

- (1) 会長及び副会長は理事会が推薦し、総会において承認を受ける。
- (2) 理事は会長が推薦し、総会で承認を受ける。
- (3) 事務局の局員、研究部・研修部・広報部の部員は、立候補及び推薦による候補者の中から理事会が選出し、会長が委嘱する。

- 3 役員は会計監事を兼ねることができない。

(会計監事)

第11条 本会に会計監事2名を置く。

- 2 会計監事は会長が推薦し、総会において承認を受ける。
- 3 会計監事は役員を兼ねることができない。

(顧問)

第12条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は理事会の推薦により会長が委嘱する。

(任務)

第13条 役員、会計監事及び顧問の任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は本会を代表し、会務を総括する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長の事故ある時はこれを代理する。
- (3) 事務局長、専門部長は事務局並びに各部の業務を統括する。事務局次長、専門部副部長は局長並びに部長を補佐し、局長並びに部長に事故ある時はこれを代理する。
- (4) 専門部員は各部の業務を処理する。
- (5) 会計監事は本会の会計を監査し、総会に報告する。

(任期)

第14条 役員の任期は2年、会計監事の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

(解任)

第15条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、理事会の議決により、これを解任することができる。

- (1) 心身の故障により、職務の執行に耐えられないと認められるとき。
- (2) その他解任に相当する事項が認められるとき。

## 第5章 会 計

(会費)

第16条 本会の経費は会費及びその他の収入をもってあてる。

(年度)

第17条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

## 第6章 附 則

(細則)

第18条 本会の会務執行に必要な細則は別に定める。

(会則改正)

第19条 本会の会則改正は総会出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

(会則施行)

第20条 本会の会則は平成29年7月19日から施行する。

## 細 則

第1項 事務局並びに専門部の活動は、当該年度の活動計画によることとする。

- (1) 事務局
- (2) 研究部
- (3) 研修部
- (4) 広報部

第2項 全国公立小中学校事務職員研究会（以下、「全事研」という。）について

新潟市学校事務研究協議会（以下、「新潟市事研」という。）は新潟県学校事務研究協議会（以下、「新事研」という。）と連携・協議し、全事研新潟県支部として活動する。

- ・全事研の新潟県支部長は、新事研会長がこの任にあたり、新潟市事研の代表者は評議員としてその任にあたる。
- ・全事研の評議員は、全事研の総会及び評議員会に出席し、決議機関員として活動する。また全事研の地区委員会及び新事研との連絡調整にあたる。

### 第3項 北越地区公立小中学校事務職員研究会について

- ・北越地区公立小中学校事務職員研究会の新潟支部長は、新事研会長がこの任にあたり、同評議委員は新事研副会長がこの任にあたる。
- ・新潟支部長及び評議委員は、北越地区公立小中学校事務職員研究会の評議委員会・連絡会に出席し、決議機関員として活動する。

平成30年6月28日改正

令和4年6月27日改正

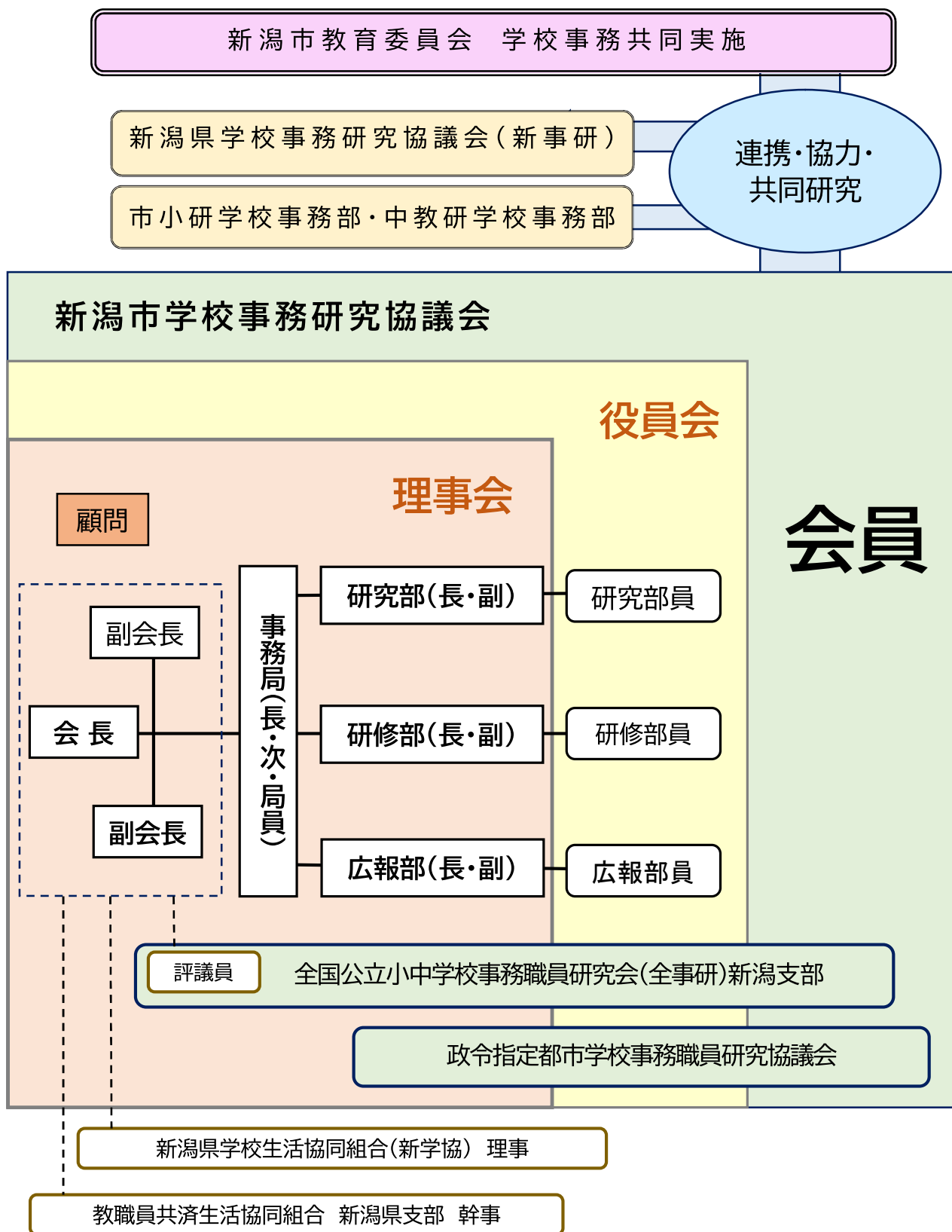
令和5年6月26日改正

## 内規

### ◎ 令和3年度からの担当業務

業務内容	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
会計監事 (2名)	江南区	中央区	東区	北区	西蒲区	西区	南区	秋葉区	江南区
議長 副議長		東区	北区	西蒲区	西区	南区	秋葉区	江南区	中央区
議事記録		東区	北区	西蒲区	西区	南区	秋葉区	江南区	中央区

# 新潟市学校事務研究協議会組織図



令和5年度 全国公立小中学校事務職員研究会 新潟支部会計 予算書(案)

1 収入の部

△は減 (単位:円)

項目	5年度予算額	4年度予算額	比較増減	付記
1 繰越金	1,080,904	789,448	291,456	
2 会費	685,000	690,000	△ 5,000	会員1,000円×685名
3 雑収入	49	52	△ 3	預金利息
合計	1,765,953	1,479,500	286,453	

2 支出の部

△は減 (単位:円)

項目	5年度予算額	4年度予算額	比較増減	付記
1 運営費	70,000	60,000	10,000	
役務費	25,000	15,000	10,000	全事研会報送料
消耗品費	35,000	35,000	0	印刷消耗品
支部活動会場費	10,000	10,000	0	新潟市事研との交流会会場料
2 研究助成費	210,000	50,000	160,000	
補助研究費	210,000	50,000	160,000	全事研分科会発表に伴う研究活動、全事研セミナー参加奨励金
3 旅費	810,000	440,000	370,000	
全事研役員旅費	120,000	120,000	0	全事研総会、全事研評議員会、北越評議委員会、全事研役員
大会派遣旅費	600,000	300,000	300,000	全事研大会派遣
支部活動旅費	90,000	20,000	70,000	全事研支部交流活動(研究部2回、総務部2回)
4 会費・負担金	325,000	325,000	0	
全事研会費	320,000	320,000	0	全事研会費(320名分)
北越地区負担金	5,000	5,000	0	北越地区負担金
5 予備費	350,953	604,500	△ 253,547	
予備費	350,953	604,500	△ 253,547	
合計	1,765,953	1,479,500	286,453	